

2011年(平成23年)3月21日 月曜日

佐々木孝さん、母の千代さん、
孫の愛さん



南相馬市原町区、佐々木孝さん(71)「放射能への不安で屋内退避地区からも人が徐々に離れていく。98歳の母がいた老人ホームも職員不足となり、母を自宅に引き取った。2歳の孫娘ら計6人で自宅に残り、物資不足が続く退避地区の様子をブログ『モノディアログス』で記し続ける。親鳥がえさを運んでくれると信じ、精いっぱい鳴く小鳥たちの姿を思い浮かべて」
＝同市の自宅